

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科 目 名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 月・木1-4限	教室名	301・302・303・402・ロボット製作実習室
担 当 教 員	村井 拓人・臼井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
ロボット分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式						
《授業外における学習方法》						
・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》						
学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科 目 名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 月・木1-4限	教室名	301・302・303・402・ロボット製作実習室
担 当 教 員	村井 拓人・臼井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
ロボット分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式						
《授業外における学習方法》						
・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》						
学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科 目 名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 月・木1-4限	教室名	301・302・303・402・ロボット製作実習室
担 当 教 員	村井 拓人・臼井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
ロボット分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式						
《授業外における学習方法》						
・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》						
学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科 目 名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 月・木1-4限	教室名	301・302・303・402・ロボット製作実習室
担 当 教 員	村井 拓人・臼井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
ロボット分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式						
《授業外における学習方法》						
・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》						
学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科 目 名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 月・木1-4限	教室名	301・302・303・402・ロボット製作実習室
担 当 教 員	村井 拓人・臼井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
ロボット分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式						
《授業外における学習方法》						
・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》						
学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第61回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第62回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第63回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第64回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第65回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第66回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第67回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第68回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第69回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第70回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第71回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第72回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第73回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第74回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第75回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科 目 名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 月・木1-4限	教室名	301・302・303・402・ロボット製作実習室
担 当 教 員	村井 拓人・臼井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
ロボット分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式						
《授業外における学習方法》						
・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》						
学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第76回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第77回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第78回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第79回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第80回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第81回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第82回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第83回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第84回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第85回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第86回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第87回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第88回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第89回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第90回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科 目 名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 月・木1-4限	教室名	301・302・303・402・ロボット製作実習室
担 当 教 員	村井 拓人・臼井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
ロボット分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式						
《授業外における学習方法》						
・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》						
学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第91回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第92回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第93回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第94回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第95回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第96回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第97回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第98回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第99回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第100回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第101回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第102回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第103回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第104回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第105回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義・演習・実習
科 目 名	学外実務研修		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 月・木1-4限	教室名	301・302・303・402・ロボット製作実習室
担 当 教 員	村井 拓人・臼井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
ロボット分野の企業や大学、公的機関等と連携し、実践的に技術・知識を向上させ、社会人となる準備を進めるとともに、即戦力足り得る人材となる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・報告会・成果物による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・研修日誌 ・研修先で必要な書類一式						
《授業外における学習方法》						
・製作物、課題等の対応、プレゼンテーションの準備						
《履修に当たっての留意点》						
学外実務研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第106回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第107回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第108回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第109回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			
第110回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第111回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第112回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第113回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第114回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第115回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第116回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第117回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	中間報告会		
第118回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	プレゼンテーション準備
		各コマにおける授業予定	中間報告会		
第119回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	中間報告会での指摘事項を踏まえ、提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		
第120回	実習形式	授業を通じての到達目標	提携先・研修先で学ぶ知識・技術について理解し実践できる。提携先・研修先からの課題を完遂できる。自らの課題を改善し成果物を完成できる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	中間報告会での指摘事項を踏まえ、提携先・研修先または自らの課題に対応した作業・制作・実務および学習		